

留 学 報 告 書

記入日:2020年7月16日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	イギリス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: マンチェスター大学 現地言語: University of Manchester
留学期間	2019年9月～2020年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	人文学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年3月22日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月下旬～1月下旬 2 学期:1月下旬～6月中旬 3 学期: 4 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	3万8千
創立年	1824年

留学費用項目	現地通貨 (ポンド)	円	備考
授業料	£0	円	協定留学の為、授業の支払いは不要
宿舍費	£6530	円	
食費	£1300	円	外食は消費税が20%かかるのでとても高いです。
図書費	£0	円	
学用品費	£20	円	
携帯・インターネット費	£60	円	
現地交通費	£50	円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	£400	円	
被服費	£200	円	
医療費	0	円	
保険費		円	形態:海外旅行保険
渡航旅費		150000円	
ビザ申請費		91368円	
雑費		円	
その他		150000円	休暇中の旅行費
その他		円	
合計		円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:成田 目的地:マンチェスター 経由地:ヘルシンキ
 復路 出発地:マンチェスター 目的地:成田 経由地:ヘルシンキ

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社:Finnair

料金:15万円

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社: 料金:

復路 航空会社: 料金: ∴合計:

航空券購入方法

旅行代理店(店名:) インターネット(サイト名:Abroad) その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート,大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Denmark Road) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学のホームページ

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮自体は改装したばかりで、綺麗でオシャレでした。また、大学からも徒歩 10 分ととても便利でした。キッチンではフラットメイトとご飯を作るときにコミュニケーションをとるので、とても仲良くなれます。深い交友関係を築きたい人には自炊がおすすめです。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院,学内の診療所)

なし
 あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例:留学先大学の相談窓口,現地の友人等)

なし
 あり(問題の内容や相談した人等:コロナウイルスの影響により、日本への帰国を余儀なくされ、また授業もオンライン授業になるなど、留学の継続が不可能になりました。マンチェスター大学の事務、明治大学国際教育事務室、中野キャンパス事務室にメールで問い合わせました。)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

貴重品を取り出しにくいところにいれ、携帯は極力外では使わないようにしました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

寮や大学のキャンパス内では wifi をストレスなく使うことが出来ました。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?

現金を使う機会が少なく、ほとんどクレジットカードで支払っていました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

基本的に現地で全て調達できます。できるだけ持っていく荷物を減らすようにすると帰りが楽です。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法,支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った,現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
100 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? なし	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Empire and Culture in East Asia	東アジアにおける帝国と文化
科目設置学部・研究科	Humanities , Japanese studies
履修期間	Semester1
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義及びチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が1回
担当教授	Dr Sharon Kinsella
授業内容	日本の帝国主義時代の東アジアにおける植民地の歴史について
試験・課題など	グループプレゼンテーション、エッセイ(1000words、1200words)
感想を自由記入	歴史についてほとんど知識がなかったので、最初は授業についていくのが大変でした。日本の歴史の授業よりも、より深く、なぜそのようなことが起こったのか、どのような影響があったのかを分析します。当時の時代背景なども詳しく学び、小説や映画なども参考にするため、歴史を物語のように理解することが出来ました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Power and Culture : inequality in Everyday Life	権力と文化
科目設置学部・研究科	humanities , Social Anthropology
履修期間	Semester1
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義及びチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Prof Stef Jansen
授業内容	社会人類学の核となる、文化相対主義、社会構成主義の観点から、西洋以外の文化や行動を分析する
試験・課題など	1時間半のテスト100%
感想を自由記入	授業が進む度により授業の内容が専門的になり、Reading も難しくなっていました。内容はとても興味深く、社会人類学の基礎の概念を学べました。今までの価値観は絶対的なものではないということに気づかされ、グローバル化が進む現在に重要な考え方を学べました。Semester1 で履修した中で一番学術的でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Disaster Management and humanitarian response in Scholarship and Practice	災害管理、人道対応における学問と実践
科目設置学部・研究科	Humanities, Humanitarian Conflict Response Institute
履修期間	Sememter1
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義及びチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Dr Hannah Baumeister
授業内容	イギリス人に向けた大学レベルのレポートやプレゼンテーションの仕方を、災害管理や紛争対応の論文等を用いながら学んだ。チュートリアルでは、fieldwork の実体験を直接チューターから聞くことが出来た。
試験・課題など	計 2000words のポートフォリオ(論文の要約など):50%、エッセイ(2000words):50% グループプレゼンテーション(成績評価対象外)
感想を自由記入	チュートリアルは、他の科目よりも自由でディスカッションが会話の流れの中で始まるため、最初に入るのが難しかった。履修している人のほとんどがイギリス人で、留学生が少なかったためとてもスピーキング力が鍛えられた。論文を読んで、批評する課題があったが、クリティカルシンキングを求められるので、何を書けばよいのか思いつかなかったが、オフィサーで教授からアドバイスを貰い、仕上げる事が出来た。
卒業後の進路について	
1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)	
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前,あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。	
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	受験勉強
4月～7月	明治大学入学
8月～9月	夏休み期間中、明治大学主催のケンブリッジ大学のサマープログラムへ参加
10月～12月	1年間の留学を決意。IELTsとTOEFLの勉強を並行。協定留学出願、選考。
2019年 1月～3月	協定留学が決定
4月～7月	春学期の授業で国際日本学部の英語で行われる Type1の授業を履修。マンチェスター大学への出願、入学許可取得、VISA 申請、VISA 取得
8月～9月	留学先で履修する科目に関連する本を読む、映画等で英語に触れる。
10月～12月	Semester1 の授業開始
2020年 1月～3月	Semester1 期末レポート、テスト
4月～7月	Semester2開始、帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

マンチェスター大学はイギリスの大学の中でもレベルが高く、教授や学生の質が高いと考えマンチェスター大学を選びました。マンチェスターは空港にも近いので、ヨーロッパを旅行するのにとても便利です。勉強面についてですが、学生は勉強に対する意識が高く、その分野の最先端の研究をしている教授がたくさん集まっているので、とても専門的に学ぶことができます。チュートリアルは、他の学生の意見を聞き、議論することで、自分の意見をブラッシュアップする機会になります。最初のうちはリーディングに常に追われていましたが、読むコツをつかむと、リーディングが速くなり、より内容も理解出来るようになってきました。最初はリーディングがとても大変だと思いますが、必ず続けていくうちに、読めるようになってくるので、頑張って継続してください。また、すべてを完璧にこなすのは難しいので、力を抜くところを見極める必要があります。イギリスの大学は自習学習に重きを置いているので、自分で計画的に勉強を進めることが必要になってきます。

交友関係については、イギリスは、授業で友達を作るというよりは、Society と呼ばれる日本でいうサークルのようなところで友達をつくるケースが多いです。私はトランポリン Society に所属し、大会にも出場しました。同じ寮のフラットメイトと過ごす時間が一番長かったです。ほぼ毎晩一緒に夕飯を作り、いろいろな話が出るので、話す度にたくさんの新しい発見があります。少人数と深くかかわりたい人には自炊がおすすめです。

海外生活を送るうえで、ハプニングはつきものなので、臨機応変に対応することが重要になります。最初は新しい環境に慣れることで精一杯だと思いますが、慣れてきたら新しいことに挑戦するとさらに世界が広がります。私も日本語を教えるボランティアをやりました。積極的に行動することで、より留学を実りあるものに出来ます。楽しい留学生活を送って下さい。